

# 北九州港とは

PORT OF KITAKYUSHU

北九州港は、古くは朝鮮、中国との交易におけるわが国の西の門戸として、また、近代は日本の工業化を支える港としての役割を果たしてきた、歴史ある国際貿易港です。

明治初期には「外国貿易の門司」、「国内流通の小倉」、「鉄・石炭の洞海」として、3つの港がそれぞれの特色を活かして発展してきました。

海辺を港として利用するためには、岸に船が着きやすいような整備をする必要があります。北九州港は、港湾都市として発展してきたため、それを支える港づくりが積極的に行われました。このため、現在の海岸線の多くは埋め立てによって形作られています。



■利用案内  
営業時間 季節により異なるためお問い合わせください。  
定休日 毎週火曜(祝日の場合は営業)、年末年始  
利用料金【大人】1日1,000円【小・中学生】1日500円



ひびきコンテナターミナル

コンテナターミナルとはコンテナを積み下ろしする専用の機械がある場所。太刀浦コンテナターミナルは西日本最大級の施設



太刀浦コンテナターミナル



## 歴史

1889年

◆ 門司港が国の特別輸出港に指定

1891年

◆ 九州鉄道本社の設置

門司を起点とする九州鉄道が開通し、名実共に陸海における九州の門戸となりました。欧州からの貨客船や中国との定期航路など、門司港はたいへんな賑わいを見せていました。

1904年

◆ 若松港(後の洞海港の一部)が国の特別輸出入港に指定

明治41年(1908)には、「石炭輸出帆船数5万1024隻、世界屈指の帆船港」と評され、若松～横浜間の石炭運賃は、日本の海上運賃の基準となるほどでした。(1916年に特別輸出入制限が撤去されました)

昭和初期には、門司と若松両港で全九州の貿易総額の80%近くを占めていました。

1931年

◆ 小倉港が一般開港の指定

戦前は国内貿易を主体とした商業港として運営されていましたが、戦後の整備が進むと共に外国貿易が始まり、主にセメントの輸出に利用されていました。

1964年

◆ 北九州港の誕生

北九州市の発足を機に、門司港、小倉港、洞海港が統合し、「北九州港」となりました。

now

現在も施設の更新や拡充が続けられており、ものづくりを支え、まちを元気にする港として、着実な成長を続けています。



【大正3年(1914)門司駅(現・門司港駅)落成】



当時の門司港は、塩田以外に目立った産業の無い寒村でした。

クルーズ船が入港する岸壁

若松(ひびきCT)

洞海港

DOKAI

小倉港

KOKURA

日明海峡釣り公園



■利用案内 入場無料  
開場時間【遊歩道部分】年中開放  
【防潮堤部分】4月～10月 6:00～21:00/  
11月～3月 7:00～17:00

Check!

## 北九州港の「スゴイ!」

古くから交通の要として栄えてきた北九州港。特色のある港がひとつになって、より広く、たくさんの荷物を取り扱う港に成長しました。

ロシアや中国・韓国に加え、東南アジアまで届ける船が着いています。

一番遠いタイまでは10日で着きます!

1年間の取扱量は1億トンで全国第5位、内航フェリーの貨物量は全国第2位です。これは港全体の取扱量の45%にあたります。

貨物全体で見ると、一番多いのは完成自動車。外国との貿易貨物では石炭・鉄鉱石・鋼材など製鉄関係の物が多く運ばれています。



新門司フェリーターミナル



西日本最大級のフェリー基地  
関西や関東・四国への長距離フェリーが毎日運航されています。





### 「みなとオアシス」とは

「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が登録するものです。



## みなとオアシス門司港

MINATO OASIS MOJIKO

令和元年11月15日に「みなとオアシス門司港」が134箇所目のみなとオアシスに登録されました。発展を続ける「北九州港」において、地域住民の交流促進や地域の魅力の向上につながる取り組みを行います！



### 【登録施設】

※各施設の営業時間に変更になる場合がございますので、ホームページや電話などで、事前に確認をお願いします。

### 【代表施設】① 旧大連航路上屋



平成25年 OPEN

ここで働いていた係船柱たちも残っています。

旧大連航路上屋は、門司税関1号上屋として、昭和4年(1929)の完成から終戦に至るまで、門司港と大陸とを結ぶ貿易港(国際貨客ターミナル)として、大型客船の待合い客等で賑わった、日本の近代化や門司港の繁栄に大きな役割を果たしてきた建物です。

■ 利用案内  
見学時間  
9:00~17:00  
休館日  
年4日不定休



昭和4年6月 竣工写真



交流機能:  
多目的スペース



情報提供機能:  
各種資料展示スペース

 ② 10:00-18:00 ※季節により変動あり ④ 年5日不定休	 ③ 調整中 ④ 無休	 国登録有形文化財 ④ 九州鉄道記念館 ③ 9:00-17:00(最終入館16:30) ④ 毎月第2水曜(8月は除く)、7月は、第二水・水曜日、※第二水曜日が祝日の場合、翌日に休館日を振替	 国指定重要文化財 ③ 5:00-24:00 ④ 無休	 ③ 6:10-22:00 ④ 無休
 国指定重要文化財 ③ 9:00-17:00 ④ 年中無休	 国登録有形文化財 ③ 9:00-17:00 ④ 年中無休 (わたせせいぞうギャラリーは年2日休み)	 ③ 9:00-17:00 ④ 年中無休	 ③ 物販10:00-20:00 飲食11:00-21:00 ④ 無休	 ③ いつでも ④ 無休
 ③ 9:00-18:00(10:00-18:00 北九州おみやげ館)、(9:30-18:00 かいもん市場) ④ 無休(店舗により異なる)	 ③ 10:00-22:00(最終入館21:30) カフェ16:30(土日は18:30)ラストオーダー ④ 年4日不定休	 ③ 9:00-17:00 ④ 無休	 ③ 10:00-17:00(最終入館16:30) ④ 毎月曜日(ただし月曜日が祝日および振替休日の場合は開館) 年末年始及び展示替期間	



北九州港には、全国に誇る海産物がいっぱい!  
みなとオアシス門司港に、  
新たなSea級グルメが誕生するかも!!?

Sea級グルメとはみなとオアシスが位置する地元の港で水揚げされた海産物や、みなとオアシス地域で地産地消される名産品を使った飲食物です。飲食物には何らかの“Sea(海)”の要素を含むことが必要となります。「みなとオアシス全国大会」の一環として、グルメイベント「Sea級グルメ全国大会」が年に1回開催されています。全国のみなとオアシスから、自慢のグルメが大集合!来場者の投票によって、その年のSea級グルメNo.1が決定します。

豊前本ガニ <旬:5~12月>

豊前海一粒かき <旬:11~3月>

関門海峡たこ <旬:6~9月、12~2月>

Sea ?

### みなとまちづくりマイスター 永木 三茂氏

関門港ポート天国推進協議会作業部会長  
門司港運搬 代表取締役専務



### 北九州港から、みなとの元気を発信!

三方を海で囲まれた門司市(現北九州市門司区)で生まれ育ったせい、海や港への思い入れは人一倍強い永木氏。昭和61年(1986)北九州港で第一回海の祭典が開催され、これを機に「愛港会」を設立。家族で参加できる短距離トライアスロン「ミニ・ミニ・トライアスロン」や年に一度だけ門司港の海を泳げる「門司港レトロスクエアSWIM&RUN」等を開催し、港の賑わいづくりや港湾関係の人材育成に長年尽力されています。その功績が認められ、平成23年に、みなとまちづくりを通じて地域の賑わいの創出や地域の活性化などの中心的な役割を担う人物として、(一社)ウォートフロント協会から「みなとまちづくりマイスター」に認定されました。



## 世界とつながる北九州港

### クルーズ船寄港

北九州港は、クルーズ船の誘致に積極的に取り組んでいます。これまでクルーズ船の受け入れを行っていた門司港に加え、平成28年からは、若松区のひびきコンテナターミナルにおいても受け入れを開始。平成30年には、2か所ですべて計27回のクルーズ船が北九州港に寄港しました。

クルーズ船入出港時には、地元中・高生による吹奏楽や、国の重要無形文化財に指定された小倉祇園太鼓の演奏などで寄港を歓迎したり、岸壁での観光案内や着物の着付け・抹茶・茶道などの日本文化の体験ブースを準備するなど、乗客への「おもてなし」にも力を入れており、「また訪れたい!」と思ってもらえる港を目指しています。



【寄港実績】

2018	シルバー・ディスカバラー、ロストラル、にっぽん丸、グローリー・シー
2019	クイーン・メリー2 (初寄港)、アザマラ・クエスト (初寄港)、ル・ソレアル、シルバー・エクスプローラー (初寄港)、シーボーン・ソジャー (初寄港)



## 眺める・歩く・楽しむ北九州港

北九州の海岸は長く、いろいろな表情を楽しめます。

### 日本の灯台50選

僧清虚像



#### 部埼灯台

「灯台の父」と呼ばれるリチャード・ヘンリー・プラントンの設計により、明治4年(1872)に関門海峡の東・周防灘口の九州側の位置に建設された灯台。部埼灯台の下、海沿いには、海の難所である部埼周辺を通る船のため、亡くなるまでの13年間もの間、目印となる火を読経と共に焚き続けた僧清虚を称え、地元門司港の彫刻家が彫刻した像が建っています。

#### 白州灯台



北九州市小倉北区の沖合、藍島の西方約2kmの岩礁に立つ灯台。関門海峡北側の浅瀬で海難事故が頻発していたことから、当時小倉藩海上御用掛難破船支配役であった岩松助左衛門が灯台の建設を決意し、独力で建設に着手。その後明治政府に引き継がれ、初代の木造灯台が完成しました。当初は白色塗りでしたが、明治9年(1876)に白帆と区別しやすいうように白黒の塗りわけに変更されています。



#### 旧古河鉱業若松ビル 国登録有形文化財

大正8年(1919)築。若松港の繁栄を垣間見られる煉瓦造りの美しい建物。通りには大正時代の建物が带状に残っているのが「若松バンド」と呼ばれています。

9:00-17:00 火曜日・年末年始



#### 土木遺産に認定! 日本土木学会認定

#### 「若松港築港関連施設群」

「若松南海岸物揚場」や「弁財天上陸場」をはじめ、若松南海岸周辺の6施設を認定。明治23年(1890)から昭和10年(1935)頃に、筑豊炭田からの石炭積み出し基地として整備され、若松港・洞海湾の発展の基礎となった貴重な財産です。

詳細については、北九州港 (Port of KITAKYUSHU) HPをご覧ください。

## 海外諸港との交流 ~ 姉妹港・友好港 ~

北九州港では、米国・タコマ港及びタイ・レムチャン港と姉妹港を、中国・大連港と友好港を締結し、姉妹港・友好港会議や、研修生の相互派遣など、活発な国際交流活動を行っています。



タコマ港(アメリカ合衆国)	昭和59年(1984)7月5日/姉妹港宣言書
大連港(中華人民共和国)	昭和60年(1985)5月8日/友好港提携協議書
レムチャン港(タイ王国)	平成3年(1991)7月22日/姉妹港宣言書

### ◆ 交流内容

#### ● 姉妹港・友好港会議の開催

原則、3年に1度、姉妹港・友好港会議を開催(交互開催)。会議は、両港トップが出席し、両港の近況報告や情報交換等を実施。

#### ● 研修生の相互派遣

大連港及びレムチャン港と議定書に基づき、研修生を相互に派遣。

令和元年度は、北九州港開港130周年記念式典に諸港関係者を招聘。併せて、タコマ港との姉妹港会議も開催する。



## みなとのにぎわいイベント

北九州港では歴史ある行事やたくさんのイベントが開催され、市民との交流の場となっています。

### PORT & EVENT



#### 若松みなと祭り (7月)

#### 門司港レトロイルミネーション (11-3月)



#### 門司みなと祭 (5月)

#### 門司海峡フェスタ (5月)



#### 花火大会 (7,8月)

海に浮かべた台船から花火を打ち上げるので間近で見られます。



くきのうみ花火大会

関門海峡花火大会



## 協賛企業様

北九州港湾建設協会 五洋建設株式会社九州支店 北九州エアターミナル株式会社 北九州埠頭株式会社  
 電源開発株式会社若松総合事業所 ひびき灘開発株式会社 株式会社ヤナイ 有限会社上田工業 関門港運協会  
 関門コンテナターミナル株式会社 株式会社北九州銀行 公益社団法人九州海事広報協会 小倉地区港運協会  
 株式会社ジェネック 第一港運株式会社 鶴丸海運株式会社 洞海港運協会 株式会社西日本シティ銀行北九州総本部  
 日鉄物流八幡株式会社 日本製鉄株式会社八幡製鉄所 阪九フェリー株式会社 株式会社福岡銀行北九州本部  
 三井倉庫九州株式会社 株式会社名門大洋フェリー 門司港運株式会社 門菱港運株式会社 株式会社安川電機  
 八幡港友会 東海運株式会社九州事業部 家島建設株式会社九州支店 有限会社臼田産業 オーシャントランス株式会社  
 岡本土木株式会社 開進株式会社門司支店 株式会社上組門司支店 株式会社上組八幡支店 神野建設株式会社  
 関門汽船株式会社 北九州港運株式会社 九州水曜会 株式会社繋船組 株式会社ケイティエル 合同会社競輪企画  
 小倉運送株式会社 五幸株式会社 児玉建設株式会社 株式会社五菱 西部ガス株式会社 山九株式会社北九州支店  
 山協港運株式会社 三鋼販西日本株式会社 山松海運株式会社 株式会社三洋コンサルタント JR九州ステーションホテル小倉株式会社  
 昭和マリン株式会社 株式会社新星社 製鉄曳船株式会社 西邦海運株式会社 井友港運株式会社 株式会社ゼンリン  
 第一警備保障株式会社 第一交通産業株式会社 大洋装備株式会社 高倉運輸株式会社 株式会社タカミヤ  
 東亜建設工業株式会社北九州営業所 東洋建設株式会社北九州営業所 株式会社東洋信号通信社 TOTO株式会社  
 戸畑港運輸株式会社 株式会社なかやしき 西日本海運株式会社 日本サルヴェージ株式会社門司支店  
 日本通運株式会社門司海運支店 一般社団法人日本貨物検数協会九州支部 株式会社日本港湾コンサルタント  
 株式会社日本総合希画 有限会社仁徳海運 野中産業株式会社 B & A門司港 響灘ウインドエナジーリサーチパーク合同会社  
 フィード・ワン株式会社 福岡トランス株式会社 株式会社フジトランスコーポレーション  
 株式会社フロンティア・ロジ 松山・小倉フェリー株式会社 株式会社マルイシ 株式会社みずほ銀行北九州支店  
 名港海運株式会社 門司エーゼント会 門司港開発株式会社 門司港サイロ株式会社  
 門司飼料株式会社 山田港運倉庫株式会社 ヤマト工業株式会社 株式会社吉田組九州支店 亮誠建設株式会社  
 若築建設株式会社北九州営業所 関門水先区水先人会 内海水先区水先人会 北九港会 門司印刷株式会社  
 一般社団法人北九州港振興協会



# PORT OF KITAKYUSHU - 130th ANNIVERSARY -

SINCE 1889

「もっと! ずっと! 港でつながる北九州」



## 門司港に新たなフォトスポットが登場!

### 北九州港開港130周年記念事業 ③ 錨(いかり)モニュメント・アートプロジェクト



昭和64年(1989)、北九州港開港100周年を記念し、北九州港のシンボルとして、北九州市港湾空港局門司庁舎前に設置された錨(いかり)。今回130周年を記念して、市民と一緒にリニューアルするプロジェクトを実施しました。錨本体は、門司出身のアーティストである「とよだまりさ」氏のライブペイントによる塗り替えを行い、壁面には、地元の子どもたちを中心に制作した海・港をテーマにした陶版を装飾しています。



<https://130th-kitaqport.jp>  
詳しくは130周年記念サイトへ



<http://www.mojiko.info/spot/index.html>  
観光施設の詳細は門司港レトロインフォメーションへ



北九州港開港130周年記念事業実行委員会事務局 TEL 093-321-5939